

岩木川ダム 統管だより

071号
2023年
(令和5年)
3月28日



2022年度(令和4年度) 地域とともにあゆむ岩木川ダム統管

4月～6月

※『朱書き』は画像と説明文の有を意味しています

4月

- 17日 津軽ダム「春の自然越流開始」
- 18日 津軽ダム春の『安全利用点検』
- 19日 浅瀬石川ダム春の『安全利用点検』
- 22日 水入祭 (主催: 浅瀬石川土地改良区)
- 28日～ 浅瀬石川ダム・津軽ダム
『春のライトアップ』(～5/5まで)

浅瀬石川ダム・津軽ダム春の『安全利用点検』



河川がレクリエーション活動の場として多くの方々に利用されていることから、皆様が安全安心に水辺を利用できるような春の大型連休前に一斉点検を行いました。

5月

- 8日 『レッドライトアッププロジェクト2022』 in 津軽ダム
- 12日 看護の日『ブルーライトアップ』 in 津軽ダム
- 13日 浅瀬石川ダム・津軽ダム 『洪水対応演習』
- 18日 青森県立弘前工業高校リクルート講話・座談会
- 25日 津軽地域河川・道路整備意見交換会
- 30日 弘前大学 リクルート説明会

浅瀬石川ダム・津軽ダム 『春のライトアップ』

浅瀬石川ダムは3年ぶりのライトアップ。好評のミニプロジェクトマップに加え、投影ポイントでBGMを流しました。



世界赤十字デーに『人道』への理解を深めていただくことを目的に、「赤色」でダム堤体を照らしました。

『レッドライトアッププロジェクト2022』 in 津軽ダム

看護の日

『ブルーライトアップ』 in 津軽ダム

新型コロナウイルス感染症対応に従事されている医療関係者等の皆様に感謝と敬意を込めて、ダム堤体を「青色」で照らしました。



浅瀬石川ダム・津軽ダム 『洪水対応演習』

大雨に伴う警戒体制の発令、事前放流に伴う情報提供の訓練等を行いました。



6月

- 5日 こけし駅伝大会「第20回記念大会」中止
- 12日 浅瀬石川クリーンアップ運動 (主催: 浅瀬石川クリーンの会)
- 25日 2022カヌーワイルドウォータージャパンカップ第3戦
- 25日 第19回白神カップカヌー大会
- 25日 第49回東北総合体育大会カヌー大会
- 25日 令和4年度国民体育大会東北ブロック大会
- 26日 2022カヌーアラームジャパンカップ第3戦



浅瀬石川クリーンアップ運動

朝5時前から集まった地元住民など、およそ100名の参加者が、浅瀬石川橋から千年橋間1.5キロ区間の草刈り、ゴミ拾い、花壇整備などの河川環境整備を行いました。

7月～9月

7月

- 4日 夏休み前の安全利用点検（浅瀬石川ダム）
- 5日 夏休み前の安全利用点検（津軽ダム）
- 21日 『Sマーク』付き 津軽ダムカード 配布開始
- 23日 津軽ダム 森と湖に親しむ旬間 『にしめやLAND2022』 併催イベント（～24日）
- 23日 白神山地ビジターセンター 夏のふれあいデー（～24日）
（主催：白神山地ビジターセンター）
- 26日 優良工事・優良業務 事務所長表彰式
- 26日 事故防止対策委員会総会
- 31日 浅瀬石川ダム 森と湖に親しむ旬間イベント 『ダム湖ふれあいデー』

『Sマーク』付き 津軽ダムカード配布開始



ダム湖やその周辺地域を利活用しているダムの普及を図り、水源地活性化の一助とすることを目的として、このたび、水上スポーツで本格的に利用しているダムについて、ダムの利活用を示すマークを新たに追加した「ダムカード」を、7月21日からの「森と湖に親しむ旬間」にあわせて配布を開始しました。



浅瀬石川ダム 森と湖に親しむ旬間イベント 『ダム湖ふれあいデー』

ダム効果模型実験やカヌー巡視体験などを楽しむ親子連れなど約900名が会場の虹の湖公園ふれあいの広場を訪れました。



津軽ダム 森と湖に親しむ旬間 『にしめやLAND2022』 併催イベント

津軽ダムパークでは、2日間で約2,300名が来場しました。ダム見学、ダム効果模型実験、フアファ遊具コーナー等、いずれも大盛況のうちに終了しました。

8月

3日 前線や低気圧にともなう降雨により

浅瀬石川ダム・津軽ダム既往最大流入量を記録

前線や低気圧にともなう降雨により

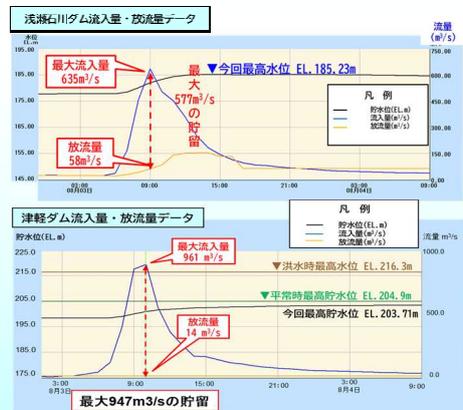
浅瀬石川ダム・津軽ダム既往最大流入量を記録

浅瀬石川ダム

- ◆ 8月3日、前線や低気圧に伴う降雨により、浅瀬石川ダム流域平均雨量累計160mmを記録するとともに、ダムへの流入量が635m³/s（既往最大流入量）を記録しました。
- ◆ 浅瀬石川ダムに貯め込んだ水の量は、つがる克雪ドーム（五所川原ドーム）約26杯分
- ◆ ダムの洪水調節により朝日橋水位観測所（田舎館村大字川部）の水位を約3.43m低減出来たと推測されます。

津軽ダム

- ◆ 8月3日に前線や低気圧に伴う降雨により、ダム流域平均雨量累計210mmを記録するとともに、ダムへの流入量が961m³/s（既往最大流入量）を記録した。
- ◆ 津軽ダムに貯め込んだ水の量は、つがる克雪ドーム（五所川原ドーム）約56杯分
- ◆ ダムの洪水調節により上岩木橋水位観測所（弘前市下湯口青柳）の水位を最大約2.46m低減出来たと推測



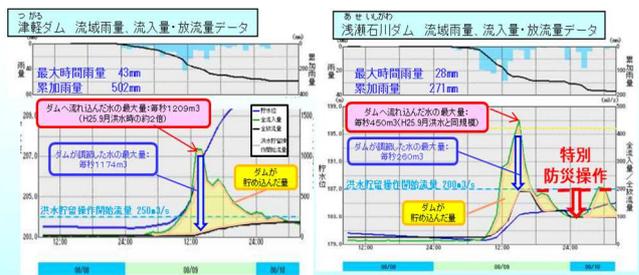
9日 前線や低気圧に伴う降雨により津軽ダム既往最大流入量を更新 岩木川水系ダム群の連携で水位低減

岩木川ダム統管事務所では、ダムの特別防災操作※1を実施する等、下流河川の水位低減に努めました。

- ◆ 津軽ダム上流域では累加雨量が502mmに達する大雨になり、津軽ダムへの最大流入量が毎秒1209m³となり、管理開始（H29）以降第1位で、最高水位を記録した平成25年9月洪水時の約2倍の最大流入量を記録。
- ◆ 浅瀬石川ダムでは、特別防災操作※1を実施して、下流河川の水位低減のため、ダム放流量を絞り込みました。

※1：特別防災操作とは、下流河川の水位上昇軽減を図るため、今後の降雨予測を確認しながら、ダムに貯め込む水の量を増やし、ダムから流れる水の量を減少させる操作。

前線や低気圧に伴う降雨により津軽ダム既往最大流入量を更新 岩木川水系ダム群の連携で水位低減



12日 浅瀬石川ダム・津軽ダム「夏のライトアップ2022」（～21日）諸般の事情により中止

19日 深浦町ヘリエゾン（現地情報連絡員）派遣（～25日）

深浦町ヘリエゾン（現地情報連絡員）派遣

大雨被害の深浦町へ出向き、被災地の詳しい被災情報やニーズを迅速に把握し、災害対策の支援等を行いました。



9月

- 1日 総合防災訓練中止
- 21日 西北地区 地域づくり懇談会
- 28日 安全パトロール(浅瀬石川ダム庁舎耐震工事)

白神山地ビジターセンター

『ふれあいデー』



ビジターセンター建物内と屋外テント等で様々な企画が催されました。当事務所では、パネル展を実施し、浅瀬石川ダム・津軽ダムのPRを行いました。

10月～12月

10月

- 2日 第20回弘前・白神アップルマラソン
- 8日 **白神山地ビジターセンター『ふれあいデー』** (～9日)
岩木川ダム統管事務所パネル展 (主催: 白神山地ビジターセンター)
- 14日 **2022青森県救助救護検討会 救助技術展示会** (～15日)
津軽ダムを使用した救助訓練 (主催: 青森県救助訓練兼総会)
- 16日 黒石市総合防災訓練
- 20日 **岩木川ダム統管事務所管内 合同現場安全パトロール**
- 27日 **浅瀬石川ダム・津軽ダム『秋のライトアップ』** (～11月3日)
- 27日 **中野もみじ山ライトアップ** (～11月3日)
- 31日 水陸両用バス『津軽白神号』今シーズンの営業を終了



工事・業務受注者20社及び弘前労働基準監督署と合同安全パトロールを実施。パトロール後は検討会を実施し、改善が必要な点や好事例などの情報を共有しました。

岩木川ダム統管事務所 合同安全パトロール

中野もみじ山ライトアップ



3年ぶりの実施。色づいた木々がライトアップされ幻想的に浮かび上がる様子に来訪者は目を奪われます。



浅瀬石川ダム・津軽ダム『秋のライトアップ』

3年ぶりの実施となった中野もみじ山(黒石市)ライトアップとのタイアップ企画として実施。両ダムイメージキャラクターが秋の実りを楽しみ動画投影(BGM付き)も行いました。

11月

- 11日 地域づくり懇談会 (中南地区)
- 14日 **第9回 大規模水害に備えた減災対策協議会** (鶴田町国際交流会館)
- 第6回 流域治水協議会

第9回 大規模水害に備えた減災対策協議会



8月上旬の大規模水害を踏まえた今後の治水対策について情報共有を行いました。

12月

- 7日 防災エキスパート懇談会 (青森河川国道事務所)
- 20日 **浅瀬石川ダム・津軽ダム『クリスマスライトアップ』** (～25日)

浅瀬石川ダム・津軽ダム『クリスマスライトアップ』

昨年に続き2回目の“クリスマスライトアップ”を実施。両ダムではダム壁面にイメージキャラクターのあっちゃん(浅瀬石川ダム)と、ベッカー君(津軽ダム)がサンタになって登場。津軽ダムでは、ダムパーク内の木々に電飾をあしらい、津軽ダムパークイルミネーションも行いました。



1月～2月

1月

25日 北東北管理ダム業務報告会 (Web参加)

2月

1日 乳穂ヶ滝ライトアップ (~19日) (主催: 目屋観光協会)

3日 浅瀬石川ダム『冬のライトアップ』 (~12日)

4日 黒石温泉郷雪祭り「雪の降るさと2023」 (主催: 津軽伝承工芸館) (~12日)

9日 青森県立弘前工業高校リクルート講話・座談会

10日 津軽ダム『冬のライトアップ』 (~19日)

18日 津軽ダムパーク「スノーアート」制作



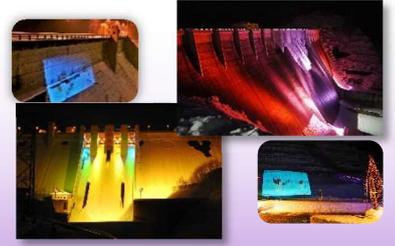
乳穂ヶ滝ライトアップ

高さ3.3mの乳穂ヶ滝(中津軽郡西目屋村)は、滝が凍って一本の氷柱となることで知られています。乳穂ヶ滝は、日中・ライトアップとともに昨年の完全結氷に続いて2年連続の完全結氷を期待する多くの見物客で賑わいましたが、暖気見舞われた2月12日(日)午後、残念ながら崩落しました。

※例年2月の第3日曜日に開催される伝統行事『乳穂ヶ滝氷祭り』は昨年に続き中止となりました。

浅瀬石川ダム・津軽ダム『冬ライトアップ』

両ダムともに地域のイベント期間に合わせて実施しました。浅瀬石川ダムの冬のライトアップは、3年ぶりの実施となりました。



当事務所初の試み「スノーアート」をスノーアーティスト集団It's OK.の協力のもと津軽ダムパークに制作しました。スノーシュー(かんじき)を用いて、西こぎん模様等をイメージした形に足跡をつけ約4時間で約30m×60mのスノーアートが完成しました。

津軽ダムパーク「スノーアート」制作

岩木川ダム統管理事務所 令和5年度 主な行事予定

4月中旬～5月下旬・・・春のライトアップ・

レッドライトアップ・ブルーライトアップ

7月下旬～8月中旬・・・夏のライトアップ・森と湖に親しむ旬間イベント

10月中旬～11月上旬・・・秋のライトアップ

12月中旬・・・クリスマスライトアップ

2月上旬～2月中旬・・・冬のライトアップ・スノーアート

※ライトアップは、季節の行事や地域イベントに合わせて実施予定です。日程については、随時ホームページ・公式Twitterでお知らせいたします。

今月の昔っこ(昔話)

岩木川ダム統管理事務所のホームページでは、毎月1話津軽地方に伝わる昔話を標準語・津軽弁の2パターン作成、公開しています。事務所職員が描いた温かみのあるイラストとともに地域に伝わるお話をお楽しみください。

第13作目となる3月のお話は『化け物寺(猿)』です。

～あらすじ～ 山寺の新住職のもとに夜ごと訪れる若く綺麗な二人の娘。毎日、歌って踊って夜明けまでオモテナシ。最初は喜んだ和尚さんも次第に警戒。娘達の正体は猿!そして本当の目的は?



編集後記

この時期はいつもの事だけど寂しさを感じます。何度も何度も経験して、仕事を回してきているのにね。人との関わりは、煩わしい時もあるし、悲しいさよならもあるけど、つながることで生きる喜びや幸福をもたらしてくれます。分かっているけど見送りがちょっと辛い。4月になれば全てが新たに回り始めるとしても。風は蕭蕭として湖水寒し。(工藤)

ついに、自身として最後の“ダムだより”となりました。広報担当でなければ体験出来なかったこと、行けなかった場所、見学者の声、沢山の物事を経験させていただきました。力一杯走りきった3年9カ月は、まるで毎日が社会見学のようにとても楽しかったです。本当にありがとうございました。広報担当期間業務職員は次へバトンタッチです☆彡(対馬)

編集・発行



国土交通省 東北地方整備局 岩木川ダム統管理事務所 (浅瀬石川ダム・津軽ダム)

〒036-1422

青森県中津軽郡西目屋村大字居森平 字寒沢138-2

TEL 0172-85-3035

FAX 0172-85-3061



(ホームページ) (Twitter)

岩木川ダム統管理事務所 ホームページアドレス

<https://www.thr.mlit.go.jp/iwakito/>

公式Twitter @mlit_iwakito